

平成31年度
 劇場・音楽堂等機能強化推進事業
 (地域の中核劇場・音楽堂等活性化事業)
 成果報告書

団 体 名	公益財団法人静岡市文化振興財団	
施 設 名	静岡音楽館 A01	
助 成 対 象 活 動 名	公演事業・人材養成事業・普及啓発事業	
内定額(総額)	18,817	(千円)
公 演 事 業	13,003	(千円)
人 材 養 成 事 業	2,614	(千円)
普 及 啓 発 事 業	3,200	(千円)

1. 事業概要

(1) 平成31年度実施事業一覧【公演事業】

番号	事業名	主な実施日程	概要 (演目、主な出演者、スタッフ等)	入場者・参加者数	
		主な実施会場		目標値	実績値
1	子どものためのコンサート はじめての「雅楽」	令和元年 6 月 22 日	曲目：管絃 平調音取 ほか 出演：伶楽舎	目標値	420
		静岡音楽館 A01 ホール		実績値	339
2	ベートーヴェン： 交響曲全集 I	令和元年 7 月 21 日	曲目：L.v. ベートーヴェン： 交響曲第 1 番 ほか 出演：沼尻竜典 (Cond.) ほか	目標値	540
		静岡音楽館 A01 ホール		実績値	588
3	第 24 回「静岡の名手たち」 オーディション合格者による コンサート	令和元年 9 月 14 日	曲目：末吉保雄：ミラージュ ほか 出演：蘆澤奈津 (Mar.) ほか	目標値	330
		静岡音楽館 A01 ホール		実績値	194
4	川本嘉子&小山実稚恵 デュオ・リサイタル	令和元年 9 月 26 日	曲目：J. ブラームス： ヴィオラ・ソナタ第 1 番 ほか 出演：川本嘉子 (Va.) ほか	目標値	450
		静岡音楽館 A01 ホール		実績値	365
5	3MA	令和元年 10 月 19 日	曲目：ANAROUZ ほか 出演：3MA	目標値	420
		静岡音楽館 A01 ホール		実績値	244
6	藤木大地 & 福田進一 歌とギターの調べ	令和元年 10 月 31 日	曲目：G. カッチーニ：アマリッリ ほか 出演：藤木大地 (Gt.) ほか	目標値	420
		静岡音楽館 A01 ホール		実績値	356
7	A01・ レジデンス・クワルテット	令和元年 11 月 9 日	曲目：A. シュニトケ： 弦楽四重奏曲第 3 番 出演：松原勝也 (Vn.) ほか	目標値	300
		静岡音楽館 A01 ホール		実績値	344
8	第 9 回 アマチュア・アンサンブル の日♪	令和元年 11 月 23 日	曲目：渡部哲哉：落葉の舞う季節 ほか 出演：かけくら☆とりお ほか	目標値	700
		静岡音楽館 A01 ホール		実績値	517
9	アレクサンドル・タロー ピアノ・リサイタル	令和元年 11 月 30 日	曲目：J.-Ph. ラモー： 新クラヴサン組曲集 より ほか 出演：アレクサンドル・タロー (Pf.)	目標値	360
		静岡音楽館 A01 ホール		実績値	343
10	大西順子トリオ クリスマス・ジャズ・ライブ	令和元年 12 月 19 日	曲目：Three Penny Opera ほか 出演：大西順子トリオ	目標値	480
		静岡音楽館 A01 ホール		実績値	517
11	新春 ZEN-YAMATO ジョイント・コンサート	令和 2 年 1 月 11 日	演目：吉沢検校：千鳥曲 ほか 出演：善養寺恵介 (尺八) ほか	目標値	360
		静岡音楽館 A01 ホール		実績値	274

12	ランチタイム・コンサート N響メンバーによる 金管五重奏	令和2年1月23日	曲目：J. クラーク：トランペット・ヴォラ ンタリー ほか 出演：福川伸陽（Hr.）ほか	目標値	360
		静岡音楽館 A01 ホール		実績値	436
13	ベートーヴェン： 交響曲全集Ⅱ	令和2年2月2日	曲目：L. v. ベートーヴェン： 交響曲第2番 ほか 出演：沼尻竜典（Cond.）ほか	目標値	540
		静岡音楽館 A01 ホール		実績値	573
14	ザイール・サクソフォン・ カルテット	令和2年2月22日	曲目：A. ピアソラ：ヴィオレン・タンゴ 出演：ザイール・サクソフォン・Q	目標値	480
		静岡音楽館 A01 ホール		実績値	359
15	IL DEVU CONCERT	令和2年3月13日	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、公演中止	目標値	540
		静岡音楽館 A01 ホール		実績値	-
16	オルガン¥500 コンサート 中野ひかり	令和元年8月22日	曲目：R. ロジャース：ドレミの歌 ほか 出演：中野ひかり（Org.）	目標値	480
		静岡音楽館 A01 ホール		実績値	520
17	オルガン¥500 コンサート 梅干野安未	令和元年12月14日	曲目：J. S. バッハ：前奏曲とフーガ ほか 出演：梅干野安未（Org.）	目標値	480
		静岡音楽館 A01 ホール		実績値	525
18	0歳児からのファミリー・コ ンサート Vol. 4	令和元年10月26日	曲目：久石譲：さんぽ ほか 出演：竹田詩織（Vn.）ほか	目標値	240
		静岡音楽館 A01 講堂		実績値	263
				目標値	
				実績値	
				目標値	
				実績値	
				目標値	
				実績値	
				目標値	
				実績値	

(3) 平成31年度実施事業一覧【普及啓発事業】

番号	事業名	主な実施日程	概要 (演目、主な出演者、スタッフ等)	入場者・参加者数	
		主な実施会場		目標値	実績値
1	第21期 子どものための音楽ひろば	平成31年4月27日ほか	講師：志村泉、松倉利之 ほか	目標値	50
		静岡音楽館 A01 講堂		実績値	50
2	どこでも A01 / ピアノ・ミニ・コンサート	令和元年11月15日	曲目：R. シューマン：トロイメライほか 出演：野平一郎 (Pf.)	目標値	-
		静岡市立峰山小学校		実績値	106
3	A01 のオープン・デイ 2019	令和元年8月3日	曲目：W. A. モーツァルト： クラリネット協奏曲 ほか 出演：塚本陽子 (Cl.) ほか	目標値	2,200
		静岡音楽館 A01 ホール		実績値	3,168
4	静岡音楽館 A01 アウトリーチ事業 三保生涯学習交流館 訪問コンサート	令和元年7月13日	演目：菅野ようこ：花は咲く ほか 出演：渡邊勝代 (箏)	目標値	200
		三保生涯学習交流館		実績値	51
5	静岡音楽館 A01 アウトリーチ事業 静岡県立南部特別支援学校 訪問コンサート	令和元年6月19日	曲目：秦基博：ひまわりの約束 ほか 出演：長坂萌 (Mar.) ほか	目標値	-
		南部特別支援学校		実績値	55
6	静岡音楽館 A01 アウトリーチ事業 駿府学園 訪問コンサート	令和元年7月9日	曲目：大野雄二：ルパン三世のテーマ ほか 出演：三浦玲太 ほか	目標値	-
		駿府学園		実績値	17
				目標値	
				実績値	
				目標値	
				実績値	
				目標値	
				実績値	
				目標値	
				実績値	

2. 自己評価

(1) 妥当性

自己評価
<p>社会的役割（ミッション）や地域の特性等に基づき、事業が適切に組み立てられ、当初の予定通りに事業が進められていたか。</p>
<p>2019年度、当館で実施した事業はいずれも目標として掲げたミッションや地域の特性等に基づき、事業が適切に組み立てられたものとする。その中でも特筆される事業について以下に列記する。</p> <p>1. 「AOI のオープン・デイ」（普及啓発事業 3）</p> <p>当館の事業内容の紹介や存在を広く市民に周知するために実施。ミッションとして掲げている当館の特性を活かし、小編成のオーケストラでのモーツァルトプログラムや、オルガンコンサートを無料で開催した。オーケストラのメンバーは、これまでの「静岡の名手たち オーディション」（人材養成事業 1）の合格者の中の器楽奏者を中心に編成し、広く市民に音楽に触れる機会を提供することができた。また、同日開催のロビーコンサートでは、地元常葉大学短期大学部の現役生に出演を依頼し、学校教育機関との連携を図ったとともに、楽器体験コーナーでは多くの子どもたちが楽しんで普段触れる機会のない楽器を体験した。結果目標としていた入場者数を大幅に超える 3,000 人強の来場者を得ることができ、まちの賑わいを創出する一助のなったと考える。</p> <p>2. 「オルガン ¥500 コンサート」（公演事業 16、17）</p> <p>音楽の裾野を拡大するため、誰もが気軽に音楽を鑑賞できる公演として、当館所有のパイプオルガンを活用し、市民にその魅力を紹介し親んでもらうことを主眼とした事業。2 公演ともにチケットは早々に完売し、多くの来場者を得ることができた。また、当財団が科学館も運営しているという強みを生かし、連携事業として科学的視点を取り入れた「オルガンのしくみ」についての講座を生涯学習センター4 館で実施し、こちらも大変好評であった。また、今年度より夏休み実施分については 3 歳児から入場できることとし、プログラムや進行方法の工夫などより広い世代の来場者が芸術を享受できるよう工夫をこらした。</p>
<p>助成に値する文化的、社会的、経済的意義等が継続して認められるか。</p>
<p>乳幼児から小中学生、子育て世代の親、高齢者と幅広い層を対象として事業を、特色を打ち出しながら展開していくことで、地域文化の発展や情操教育、生涯学習に至るまで、静岡市における中核をなす文化施設としての位置づけを継続的に提供し続けていることは、大きな文化的、社会的な意義を有すると考える。また、室内楽専用ホールとして国内外の一流アーティストから高い評価を受け、多くの再演を望まれていることは、地域の文化財として高い経済的な意義を有するとともに、地元の若い音楽家を演奏会に起用し続け、開館以来国内外の作曲家に新曲を委嘱し続けていることで、演奏家、作曲家の育成にも寄与している。</p> <p>当館の職員においては、職員自身が講師となり無料で演奏会の周知に向けた講演会を開催し音楽に関する研究、教育普及に努めているほか、地域の高校とも連携し今年度から年間 3 回のキャリア教育講座を講師として携わり、音楽の普及に努めるほか、地域の音楽団体や老人学級での講演会を開催するなど、職員が業務の一環として講座を実施していることは、全国的にみても特筆に値するものとする。</p>

(2) 有効性

自己評価

目標を達成したか。

公演事業

①ホール音響特性を活かした質の高い魅力的な公演の実施

当館の室内楽専用ホールとしての音響特性を活かした小編成で且つ質の高い公演を実施し、聴衆から高い評価を得ることができた。各公演のほぼ100%に近い満足度がそれを裏付けている。

- ・川本嘉子&小山実稚恵 デュオ・リサイタル 満足度100%
- ・アレクサンドル・タロー ピアノ・リサイタル 満足度100%

②ホールからの発信を意識した独創的な公演の実施

開館以来当館の専属弦楽四重奏団として設置されている A01・レジデンス・クワルテットを、当館からの発信を意識した特徴的な事業のひとつとして継続することができた。また、「藤木大地&福田進一 歌とギターの調べ」公演では、イタリア在住の日本人作曲家、杉山洋一氏に作品を委嘱し、当公演で世界初演を果たした。

③特定のジャンルにこだわらない多彩な公演の実施

本年は「子どものためのコンサート はじめての雅楽」と「3MA」「大西順子トリオ クリスマス・ジャズ・ライブ」「新春 ZEN-YAMATO ジョイント・コンサート」の4公演を実施。

④音楽の裾野を拡大するため、誰もが気軽に音楽を鑑賞できる公演の実施

「ランチタイム・コンサート N響メンバーによる金管五重奏」公演では高齢者層から、「0歳児からのファミリー・コンサート」では育児中の親子から多くの喜びの声をいただくことができた。

⑤パイプオルガン等当館所有の楽器を活用し、かつ市民に親しんでもらう公演の実施

オルガン¥500コンサート2公演を実施。年を重ねる毎に券売のスピードが速くなってきており、より多くの市民に当館のパイプオルガンの魅力が浸透してきていることを実感するとともに、このコンサートをきっかけに当館が実施する別のクラシックコンサートのチケットを購入される方が増えていることを、窓口での対面販売を通じて実感している。

人材養成事業

地元音楽家の人材育成を目的とした事業の実施及び地元音楽家の活動支援

開館以来毎年開催している「静岡の名手たち」オーディションにおいては、参加目標値(65組)には達しなかったが(44組の参加)、6組の合格者を出し9月には合格者によるコンサートを実施した。また、「アウトリーチ・コンサート」や、静岡市美術館との連携事業として開催した「ミュージアム・コンサート」においては、過去のオーディション合格者に出演を依頼するなど、継続的な支援に務めている。

普及啓発事業

①長期的視野に立った、次世代を担う子どもや青少年の育成に関する事業の実施

「子どものための音楽ひろば」では年間を通じて「打楽器」や「音あそび(作曲)」「合唱」についてなど、音楽を子どもたちに楽しんでもらうための講座、見学会を実施し、修了会ではグループに分かれて自作曲の発表をし、大きな成果を上げることができた。「どこでも A01」や、「小学校高学年のためのオルガンコンサート」(助成対象外公演)など、青少年育成のための事業を実施した。

②市民が音楽を身近に体験・発表することができる機会の提供

「A01のオープン・デイ」では、当館について関心はあるがこれまで来館までに至らなかった多くの市民が参加した。オルガンミニコンサートに参加した方のアンケート結果から来館回数が初めてと2回目の方が全体の9割弱を占めていたことから、広く当館の存在をアピールできたものと考えられる。

(3) 効率性

自己評価

アウトプットに対して、事業期間が適切で、当初の計画通りに進んだか。

アウトプットに対して、事業費が適切で、当初の計画通りに進んだか。

年間を通して様々な事業を実施したが、事業の周知期間（広報）、券売期間、事業の実施日と、全て計画通りに実施することができた。事業個々に成果の内容については差があるが、いずれの事業についても、指標としていた数値を概ね上回ることができたことは、実施された事業に対して事業期間が適切であったと考える。

事業の確定：2018年8月

広報の開始（年間パンフレット発行）：2018年12月

券売の開始（第1期及び年間リザーブ）：2019年2月

収入については予算に対し若干の未達であるものの概ね予定通りの結果を得ることができたが、個々の事業の要素によってそれぞれ幅があるため、その要素ごとに細かく分析し、今後の一層の収入向上に努めたい。

・2019年度の事業費全体（広告費を除く）の収支予算は収入22,509,000円、支出は74,130,000円で収支比率は30.4%。収支決算（見込）は収入25,161,940円、支出は64,345,970円で収支比率は39.1%。公の施設の事業として地域文化の向上という観点から広く来場者を得る必要があり、そのため入場料を地域の値ごろ感にあったものに設定するため、収支のバランスはどうしても低くなるが、それでも30%を超えていることについては、妥当と考える。また、予算に対し決算の収支比率が8.7ポイント高く、支出を抑えるなどの努力を講じている。

(4) 創造性

自己評価

地域の文化拠点としての機能を最大限に発揮する優れた事業であった（と認められる）か。

・当館の設置者である静岡市の所管課と定期的にミーティング（モニタリング）を開催し、事業・施設管理の状況を報告するとともに、市からの要望を聞き、改善・新規実施の要素としている。2019年度は当館の事業に対しては、概ね高い評価を得ている。近年では当館に対し静岡市のクラシック音楽の拠点としてより裾野を拡げてほしいとの要望があり、「オルガン¥500コンサート」「アウトリーチ事業」「0歳児からのファミリーコンサート」を立て続けに立ち上げ高い評価をうけており、現在も継続して開催している。今後は、ワークショップの開催など、できる限り要望に応じていきたいと考えている。

・当館の事業の中核をなす「コンサート・シリーズ」のラインナップは、芸術監督が企画会議委員（3名）とともに自身の企画案を持ち寄り構築しており、その創造性、独自性を開館以来保っている。国内外の作曲家への作品の委嘱を毎年実施していることや、オペラの初演、SPAC 静岡県舞台芸術センターとの共同制作公演など、地域文化の発信拠点としての機能を発揮しているものとする。現芸術監督の野平一郎氏は、ピアニスト及び作曲家としての功績のみならず、プロデューサーとしての実績も含め、平成30年度日本芸術院賞を受賞している。

・開館以来、事業制作担当の専門職3名を配し、その任にあたっている。コンサートシリーズの制作からその他事業の企画立案、制作を主な業務としているが、コンサートへの集客を図り理解を深めてもらうための講演会を講師として開催することや、生涯学習センター、高齢者学級、高等学校などへも講師として赴くなど地域の音楽振興の一助となっている。

・主催演奏会へ来場された方の満足度が100%に近い高い水準を維持しており、公演に対する高い評価を示している。

・音楽専門誌や静岡市広報誌を中心に、記事としても多く取り上げられている。

・年間を通して国内外からその世界を代表する音楽家を招聘し、地域文化の発展に寄与している。

招聘アーティスト

伶楽舎（雅楽）、小山実稚恵（ピアノ）、3MA（アフリカ民族楽器トリオ）、アレクサンドル・タロー（ピアノ）、ザイル・サクソフォン・カルテット（サクソフォン四重奏）ほか

・公演への誘客を促し、また来場者の理解を深めるための様々な取り組みを実施した。

「はじめての雅楽」公演…出演者3名による事前の小学生向けワークショップを開催。

「A01・レジデンス・クワルテット」公演…職員（学芸員）3名による演奏曲目に関する講演会を開催。

「3MA」公演…民俗音楽研究家の若林忠宏氏による講演会を実施。

自己評価

地域の実演芸術等の振興など、地域の文化芸術の発展につながっていた（と認められる）か。

・ 静岡市内の有識者並びに一般公募したメンバーに集ってもらい、当館の運営、事業に対する意見を聴取する市民会議を年3回開催。様々な意見の中から、今年度は以下について運営、実施することができた。

・ 公演、貸館等当館に関する情報を、公式ホームページ、Facebookで随時発信している。

・ 静岡市の広報を利用し、毎月広報誌に情報を掲載。

(5) 持続性

自己評価

事業を通じて組織活動が持続的に発展した（と認められる）か。

・財務体制を安定させるため、当館を管理する財団全体で文化事業増進のための寄附を市民に募ることとした。現時点での実績は極僅かであるが、パンフレットの発行や指定管理施設でのチラシの配架など周知に努め、より多くの寄附を得られるようにしていく。

・2017年度より静岡市が推進する「まちは劇場推進事業」の一部を当財団で受託し、本館でも新たに「0歳から入れる！親子クラシックコンサート」2公演を企画・開催。2020年度も継続して受託を受けている。

・地元の音楽教育機関との連携を図り、中高大学生へのアプローチを継続的に進めてきた結果、2019年度は以下の事業を実施することができた。

(1) 清水南高等学校芸術科音楽専攻…キャリア教育（講師派遣／3回）

(2) 常葉大学短期大学部音楽科…AOIのオープン・デイへの出演（ロビーコンサート）

2020年度も清水南高等学校と常葉大学との連携は実施する予定であるとともに、常葉大学附属橘高等学校吹奏楽専攻との連携も予定している。

・顧客の囲い込みのため、会員制度（静岡音楽館倶楽部）に新たな特典を付与し、会員数の増加を図った。（2019年度より「ピアニストのためのアンサンブル講座」実技聴講を無料とし、平日開催だったにも関わらず前年より多くの来場者を得ることができた。）。

・アウトリーチ事業として「静岡市内の遠隔地」「障がい者施設」「更生施設」での演奏会を継続的に実施しているが、

・静岡県舞台芸術センター（SPAC）との共同制作をこれまでに2回実施（2015年度オペラ《ポポイ》、2017年度《1940 R. シュトラウスの家》）。双方の芸術監督と継続的に会合を持ち、現在、3度目の共同制作事業実施に向けてオペラ公演の実施について議論を重ねている。

・公演ボランティアの育成、スキル向上の取り組みとして、3ヶ月に1度ボランティア研修会を開催している。